

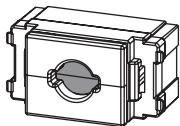
# 施工説明書

# JIMBO

埋込汎用通線ユニット

「マルチケーブルホルダー」

## JEC-BN-MC



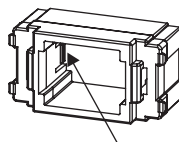
ご購入いただき、誠にありがとうございます。

本製品は、両端にプラグコネクタを備えた一般的なAV/通信用ケーブル等を壁内に隠蔽配線するためのものです。

ケーブルをご購入される前に、本書の「適合情報」記載のケーブルおよびプラグの最大寸法をご確認ください。

正しく施工していただくために、事前にこの施工説明書をよくお読みいただき、施工後に必ずお客様へお渡しく下さい。

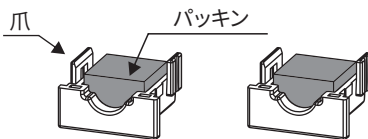
## 構成部品と名称



保持爪

### ホルダー(1個)

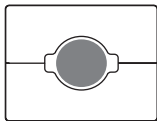
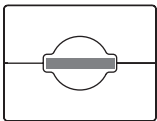

取付枠に取り付けて使用する部品です。  
(取付けに上下の向きはありません)



### カバー(2個)

ケーブルを挟持する部品です。  
(取付けに上下の向きはありません)

## 適合情報

種類	丸形ケーブル	平形ケーブル	プラグ(ホルダー部分)
サイズ (最大寸法)	<p>φ10mm</p> 	<p>幅:13mm x 厚さ:3mm</p> 	<p>プラグ(ホルダー部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縦:18mm x 横:21mm 又は</li> <li>・縦:12mm x 横:24mm</li> </ul> 

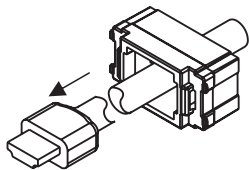
## ご注意

- ・本製品は屋内専用です。高温、多湿、直射日光など強い紫外線が当たる場所には取り付けないでください。
- ・パッキンは壁内外の通気を完全に遮断するものではありません。  
また、ケーブルの種類やサイズ、施工の仕上がり等により防気性能は変化します。
- ・編組みケーブルなど外皮に凹凸があるケーブルは、使われ方によりパッキンが摩耗し劣化を速める場合がありますので推奨しません。
- ・最小曲げ半径など、ケーブルメーカーの指定を順守のうえ施工してください。
- ・施工完了後は、むやみに壁内のケーブルを引き出したり、壁内にケーブルを押し込んだりしないでください。  
パッキンの摩耗クズが器具表面に付着したり、ケーブルの外皮損傷や伝送性能が減衰するおそれがあります。
- ・ケーブルが引っ張られカバーがホルダーから抜けてしまった場合は、ホルダーの奥まで挿入し戻してください。

## 施工方法

- 本品のみの取付、あるいは同じ取付枠についての他の器具の結線が完了している場合は、あらかじめホルダーを取付枠につけておくことを推奨します。
- 壁内で他の電線と接触する可能性がある場合は、必要に応じて内線規程3102-7に基づいた隔離措置をおこなってください。

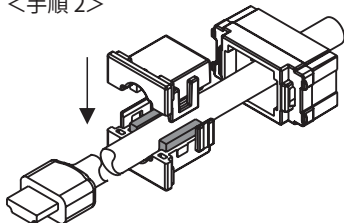
### <手順 1>



使用する(プラグ付き)ケーブルをホルダー裏側から表側に通し、配線に必要な長さに50mm程度プラスした長さをあらかじめ室内側に引き出しておきます。

- ※作業は取付面開口からできるだけ近い所でおこなってください。
- 離れた場所で作業すると余分なケーブルが壁内に収まらなくなるおそれがあります。

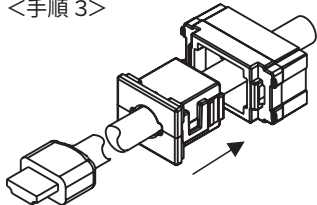
### <手順 2>



ホルダー表側開口部からできるだけ近い所(50mm以内目安)で、ケーブルを2つのカバーで挟み爪を掛け合体させます。

- ※カバーどうしの脱着時は爪の破損にご注意ください。

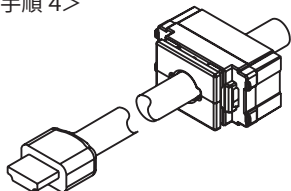
### <手順 3>



ホルダーに合体させたカバーを挿入します。

- ※カバーの爪が変形無くしっかり掛かっていることを確認ください。
- 掛かりがあまり状態で無理に挿入すると爪が破損します。

### <手順 4>

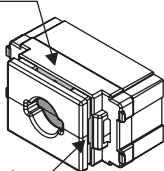


ホルダーの保持爪が掛かるまで、カバーを奥まで挿入します。

- ※ケーブル引き出し長さを変える場合は、カバーがついたままケーブルを引っ張ったり押し込んだりせず、カバーを取り外し分解のうえ<手順 2>からやり直してください。

## 分解方法

引き抜き用凹部  
(上下)



引き抜き用凹部  
(左右)

### <手順 1>

次のいずれかの方法でホルダーからカバーを取り出します。

- カバーをホルダー裏面側から押し出す
- 引き抜き用凹部にマイナスドライバーを差して捻る
- カバーとホルダー間の段差に指をかけ引き抜く

### <手順 2>

取り出したカバーは2つが組み合った状態のため、爪が折れないよう注意しながら外します。

